

研究課題名：脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法有効性及び安全性の検討-CSPS. com-におけるラクナ梗塞サブグループ解析

研究代表者：日本医科大学付属病院 脳神経内科 西山康裕・木村和美

研究概要

発症後早期から亜急性期にかけての TIA または軽症脳梗塞患者に対するアスピリン及びクロピドグレルの併用療法における脳梗塞再発予防の有効性が示されている。さらに CSPS. com において発症後 8 日以上経過したシロスタゾールとアスピリンまたはクロピドグレルの併用療法はアスピリンまたはクロピドグレルの単剤と比較し、脳梗塞再発予防効果に優れていることが示された。しかしながら、ラクナ梗塞における抗血小板薬併用療法が単剤療法に対して長期の脳梗塞再発予防に有効であるかはこれまで示されていない。

目的

CSPS. com 試験において対象となった患者のうち、ラクナ梗塞患者において、シロスタゾールとアスピリンまたはクロピドグレルの併用療法とアスピリンまたはクロピドグレルの単剤療法における脳血管イベントおよび出血イベントの発生率を比較検討する。

問い合わせ先

〒113-8603

東京都文京区千駄木 1-1-5

日本医科大学付属病院 脳神経内科 西山康裕・木村和美

TEL. 03-3822-2131（代表）、FAX. 03-3822-4865